

## 夢のつばさプロジェクト

### 2019年夏キャンプ 学生報告書

【日程】2019年8月2日（金）～5日（月）

【開催地】（株）ブリヂストン保養所 奥多摩園（青梅市）

【参加者】子ども：19名（小学生6名、中学生7名、高校生4名、専門学校生2名）

学生スタッフ・OB/OG（社会人を含む）：44名（途中入れ替わりも含む）

社会人スタッフ・協力者：18名（同上）

#### ◆2019年夏キャンプについて

夢のつばさの夏キャンプは今回で9回目の開催となりました。多くの方々の温かいご支援、ご協力をいただき、今夏も3泊4日のキャンプを無事に開催できましたことを心より感謝し、ここにご報告いたします。

年々子どもたちの年齢が上がっていき、日常生活の中でのさまざまな経験を通して成長している姿を目にすることが多くなってきました。一方で、大人に近づいているときだからこそ、悩みや葛藤を抱える子も増えているように思います。

わたしたち学生スタッフも、子どもたちにとっては少し先を歩くお兄さんお姉さんのような存在かもしれませんが、日々さまざまなことで迷ったり立ち止まったり、成長させてもらったりしながらこの活動に参加させていただいています。

夢のつばさのキャンプは、子どもたちにとってもスタッフにとっても、安心できて元気をもらえる、そんな場所だと思います。だからこそ、子どもたちもスタッフも”みんなでいっしょに”何かを学んだり、考えたり、いっしょに笑い合えるような時間をつくりたい。それが、それぞれの人生を前を向いて歩んでいけるエネルギーになればと思い、今回のキャンプの実施にいたりしました。

#### ◆スケジュール・概要

	1日目 (8月2日)	2日目 (8月3日)	3日目 (8月4日)	4日目 (8月5日)
午前	送迎	水遊び/自由時間	自由時間	閉会式
午後	開会式 アイスブレイク	MY FIVE（企画）	講演会	送迎
夜			音楽会	

## <1日目>

### ◆開会式・アイスブレイク

開会式では、みんなで楽しく安全に4日間を過ごすためのルールや注意点を確認しました。

アイスブレイクとして、今回は2つのゲームを行いました。1つ目の「じゃんけんバトル」は、じゃんけんで多く勝った人がチャンピオンになるというシンプルなゲームです。とても盛り上がり、かなり緊張をほぐすことができました。2つ目は「ばば抜きながら」です。これはばば抜きを基にしたゲームで、カードを捨てる時にそこに書かれたお題にみんなで答えていくというものです。グループ内でお互いのことを知ることができ、その後のキャンプで親交を深めるきっかけができたのではないかと感じました。



(「じゃんけんバトル」の様子)

### ◆夢のつばさスタディ

昨年度に引き続き、今回のキャンプでも高校受験を控えた中学3年生1名が「夢のつばさスタディ」に参加し、自分で計画を立てて学生とともに勉強に励みました。みんなと遊ぶ時間と集中して勉強する時間の切り替えをしながら、学生といっしょに楽しい雰囲気でも、集中して勉強に取り組んでいました。

## <2日目>

### ◆水遊び

毎夏恒例の水遊びでは、安全第一と熱中症対策を徹底し、思い切り楽しむことを目指しました。中高生が増え、参加率の面で若干の不安はあったものの、ほとんどの子どもたちが参加してくれました。



中高生が増えたためか、昨年水のかけっこから発したようなトラブルはなく、キャンプの端々で見られた中学1年生世代の成長がここでも見られました。中高生が小学生に水をかけたり、またその逆も見られ、羽目を外しても許される世代間交流としても、水遊びは有効な企画だと感じました。一歩大人に近づいた子どもたちにも無邪気な笑顔が見られて嬉しく思いました。

安全と熱中症対策に尽力してくださった皆様にご場を借りて感謝申し上げます。

## ◆MY FIVE

2日目の午後に行った「MY FIVE」は、「自分にとって大切にしたい価値観を5つ選ぶとしたら何を捨てて何を残すか」をテーマにした企画でした。自分はどんな風になりたいと思っているんだろう。どんなことに大切だと感じているんだろう。普段の生活の中で、自分の心の声とちゃんと向き合う機会はなかなかありません。この企画では、子どもも学生もいっしょに「自分にとって大切なこと」をじっくり考えることを通して、それぞれにある自分らしさを実感できたり、自分について考えることの大切さを感じてもらえることを目指しました。

中学生や高校生の子たちは、自分の価値観を考えるという初めての経験に真剣に悩みながら取り組んでいて、自分がなぜその価値観を選んだのかを、自分のことばにして一生懸命伝えようとする姿が見られました。「最初に思っていたものと実際に選んだものは違って、自分はこう考えているんだとわかった。」「価値観を考えるということを初めてやったけど、面白かった。」という感想をきくことができました。

小学生の子たちには少し難しいテーマであるという懸念もありましたが、小学生の子たちなりに一生懸命考えて、ときどきうーんと悩んだりしながらほしいものと捨てるものを決めていました。A4の紙に選んだ価値観を自由に書く「MY FIVEシート」を楽しそうに作りながら、自分の考えをイキイキと話す姿も見られ、ひとりひとりが持っているその子らしさが溢れていると感じました。

子どもと学生がいっしょに考える。その中でそれぞれが気づきを得たり、お互いのことをより知ることができたり、今回のキャンプで目指していた「みんなでいっしょに」を体現できた時間になったと思います。



## <3日目>

### ◆講演会

奈良県立医科大学の梅田智広先生をお招きしてご講演いただきました。地域ぐるみでの高齢者見守り



システムの構築や、病院に行かずとも自宅でメディカルチェックを受けられるテレメディシンの技術など、人々の健康を支えている現代の最新技術に関連した興味深いご講演内容に好奇心全開になる子どもも多く、休憩時間中にはウォッチを使用した心拍計測体験に意欲的に取り組む姿も見られました。

ご講演の内容には多少難解な部分も含まれていたため、子どもたちの中には、解釈に手こずって

いる様子も見られましたが、自分たちの想像を超えた新しい技術や考え方を自分なりに真剣に向き合っ  
て理解しようとしている姿に子どもたち一人一人の成長を感じ取ることが出来ました。

ここ一年、ただ楽しいだけでなく、子どもたちが自分自身を見つめ直したり、自分の将来を考える機  
会が設けられる企画を積極的に取り入れてきましたが、今回の講演会での子どもたちの姿を通して、そ  
ういった企画の意図が少なからず子どもたちに伝わっていることが分かり、子どもたちの成長を嬉しく  
感じると同時に、過渡期の真っ只中にある子どもたちに一つでも多く成長の糧となるような何かを提供  
してあげたいという根底にある思いを改めて実感することが出来ました。

#### ◆音楽会

夕食後には音楽会を行いました。社会人ス  
タッフの一人の白井優次様のご紹介で、ピ  
アニストの藤原新治様、ソプラノ歌手の大音  
絵莉様、バス歌手の大塚博章様がお越しくだ  
さり素敵な音楽会を開いてくださいました。

オペラ『ドン・ジョヴァンニ』より『お手  
をどうぞ』などの本格的なオペラの曲ははじ  
め、ピアノのソロ曲など、計 10 曲を演奏して  
くださいました。素敵な歌声と本格的ピアノ  
演奏に、子どもたちをはじめ学生スタッフや  
社会人スタッフも聞き惚れていました。有志  
の子どもたちによる司会も、曲間に曲の感想を自ら述べて場を和ませてくれました。



演奏の最後には、みんなでひとつの輪になって『つばさをください』を合唱しました。毎回恒例とな  
っていますが、子どもたちにとっても学生・社会人スタッフにとっても「夢のつばさプロジェクト」が  
居場所であると感じることのできる、とても温かい時間でした。素敵な時間をくださった音楽家のみな  
さまに感謝申し上げます。

#### <4日目>

#### ◆閉会式

4日目は朝食後、お部屋の片づけを終えてからセミナールームに集合し閉会式を行いました。  
閉会式は毎回恒例となっているスライドショー鑑賞から始まりました。子どもたちもスタッフも、時々  
歓声を上げながら瞳をキラキラさせて観ている姿が印象的でした。

スライドショー後はキャンプの振り返りとして、主に4日間をともに過ごした部屋のメンバーに向  
け、それぞれの想いを書いて伝え合いました。普段はワークシートを使って振り返りをしているため、  
初の試みがどうなるかという不安も少しありましたが、紙を追加でもらったりその場にはいないメンバー  
にも想いを綴ったりと、積極的に取り組む姿が見られました。その後のスタッフから子どもたちへのメ  
ッセージカードのプレゼントや奥多摩園の方々へのご挨拶と併せて、様々な人への感謝の気持ちが溢れ  
た素敵な会となりました。

## ◆夏キャンプを終えて

---

3泊4日を通して、子どもたちも学生たちもみんなが笑顔でいる姿がとても嬉しく、夢のつばさのキャンプの温かさを改めて感じていました。だれかの笑顔で周りのみんなが笑顔になる。そんな瞬間が溢れるキャンプをこれからも大切につくっていきたいと思います。また、今回のキャンプには20歳になった専門学校生2人が学生スタッフ側として参加しました。2人の存在は頼もしくもあり、仲間として一緒にキャンプをつくることができたことを嬉しく思っています。

夢のつばさのキャンプは年に4回という限られた時間です。キャンプで会うまでの間、子どもたちは楽しいことも辛いことも経験しながら大きくなっていて、それを支える保護者の方々は日々お力を尽くされていることと思います。保護者の方々が子どもたちをキャンプに参加させてくださるお陰で、わたしたちがこの活動を行うことができている、子どもたちとの時間を過ごすことができている。そのことに感謝の気持ちを忘れず、たったの4日間でも何かきっかけになる気付きや経験を届けることができるよう、子どもたち一人一人に対してできることをみんなで考え続けたいと思います。

今回のキャンプは、私が学生代表を務めさせていただく初めてのキャンプでした。先生方や社会人スタッフの方々、奥多摩園の皆様には度々ご迷惑やご心配をおかけしてしまいましたが、さまざまな面でご指導、ご協力いただき本当にありがとうございました。また、ブリヂストン社の木水様やTEPIAの武濤様、声優の土屋様、留学生の孟様、多くの方々がお忙しい中キャンプにご参加くださり、子どもたちにとっても学生にとっても学びの多いキャンプになりました。この場を借りて感謝の気持ちをお伝え申し上げます。

最後になりますが、わたしたちがこの活動を続けることができるのは、いつもご協力くださる皆様のお陰です。心より感謝申し上げます。これからもよろしく願いいたします。

学生代表 お茶の水女子大学3年 小野崎 すみれ